

広報

どうし

道志村民憲章

私たちの七里は、緑と清流と歴史の郷です。この地に生きること誇りをもち、平和な村を築くため、ここに憲章を定めます。

私たちは

- 一、自然を愛し平和な村をつくりたい。
- 一、生産に励み豊かな村をつくりたい。
- 一、伝統を重んじ、教養を高め文化の村をつくりたい。
- 一、人情といたわりの心を養い、福祉の村をつくりたい。
- 一、明るく健康で、活力ある村をつくりたい。

2001 September 9月号



収穫作業



第13回

水源の森 国際音楽祭

きれいな水は美しい森から



神地神楽保存会

魂に触れる心の叫びを音楽に託して
今年も世界の吟遊詩人達が
星降る溪谷の里「道志」に集まった



津軽三味線

初日の音楽祭のステージは各国でも有名な楽器と演奏、タップダンス、タイの踊りと音楽、女性特有のダンス、ベリーダンス、天吹地打（中国の笛や、

第十三回水源の森国際音楽祭（主催・東富士七里太鼓保存会）が今年も八月十日から三日間村営水源の森で開催され、創立以来今年で二十四年目を迎えることが出来ました。
この間、県内外はもとより、日本を代表する民俗芸能として、東南アジア、アメリカ、ヨーロッパなど世界各国で公演をさせて頂いております。
また一昨年は、カナダのナイヤガラフォールズ市において「カナダジャパンウィーク」に参加しての公演も実施して参りました。
地域の伝統芸能として太鼓を通して、国際交流、文化交流のため、世界各国での親善と、道志村の文化と心を後世に伝えようと頑張っております。



天吹地打の皆さん



サンバの踊り

打楽器の演奏）が行われました。国の文化や伝統を多くの人に紹介し、また広めるために活躍されている人達が集まり、多彩なステージが繰り広げられました。最後に東富士七里太鼓の演奏が行なわれ、迫力ある演技に大きな拍手と歓声がおこりました。



左から七里太鼓保存会、佐藤富士男、大田博文リーダー、村議会議長 水越三夫、水源林管理所長 小田切光文、会長 佐藤太志 副会長 佐藤和夫、山口源光

二日目は、さかなと遊ぼう、小中学生以下による、ます、うなぎのつかみどりがジャブジャブ池で行なわれ、大勢の人で賑わっていました。



ベリーダンス



タップダンス

ギャラリー水源の森では、十一日、十二日の二日間、絵手紙教室や、竹細工教室、和紙、紙すき教室が行なわれ、指導された作品を仕上げている姿がみられました。

二日目の会場ステージにおいては、道志の民俗芸能神地若連による神楽や「富士山弦会」による津軽三味線、サンバ・ザ・ケーシーランキン楽団、東富士七里太鼓などが



ジャブジャブ池でます、うなぎのつかみどり

演奏され、その響きの音は、夜のしじまの山里にこだましました。会場には総勢約二百名の音楽に感心のある人が集まり、音楽祭も賑やかにおこなわれました。



竹細工教室

北日本など一部の地域を除くと、九月初旬はまだ夏の内。残暑に悩まされる日が続きますが、それでも朝方や夕暮れどきなど、ふと秋の気配が感じられるようになります。やがて、夜がだんだんと長くなり、朝夕が冷え込み、露の降る日も現れるようになりますと、秋気が募ってきます。そんな秋の訪れを、二十四節気では「白露」といい、新暦の九月

七日前後がその時期に当たります。このころになると、それまで生暖かった風にも冷たさが加わります。

歳時記

秋風



「秋風」とは、文字どおり秋に吹く風を指しますが、夏や冬の季節風のように定まった風向きはあ

りません。俳句の世界では、秋の初風をいう場合もあり、晩秋の身にしみるような冷たい風をいう場合もあるようです。「秋」と読み方が同じ「愁（しゅう、うれい）」、「飽き」にかけて、うれいを含んだ風の意味で「愁風」、心の破綻があるといふ意味で「飽き風」と詠んだ詩や句が、昔から多くつくられています。

秋風を色に配して白、素風と呼ぶこともありませう。石山の 石より白し 秋の風

芭蕉

これは、白露を連想させる白光った風です。実体のない風に色を与えることで、その特色を浮かび上がらせた句です。同じ秋に吹く風である台風や、初冬の木枯らしなど、さまざまな風を色にとえてみるのも面白いですね。

基本健診・がん検診を受けましょう！！

自分の健康は自分で守る
健康なときこそ健診を受けましょう。



実施日	時間	検査項目	場所
9月13日(木)	午前 8:00 ~ 10:00	胃がん検診	旧唐沢小学校校舎
	午前 8:00 ~ 10:00	腹部エコー検診	〃
	午前 9:00 ~ 12:00	基本健診	〃
	午前 8:00 ~ 9:30	大腸がん検診	〃

検査料金

検査の種類	検診でわかる病気	検査料	自己負担	村負担
基本健診(日赤病院)	高血圧・心臓病、肝臓病等の成人病	9,450	1,000	8,450
胃がん検診	胃、十二指腸潰瘍、ポリープ、炎症、がん等	4,027	500	3,527
大腸がん検診	小・大腸炎症、がん等	1,810	500	1,310
肝がん検診(超音波)	胆のう、肝臓、膵臓等の異常	3,242	500	2,742

(70才以上の方は無料です。)

大腸がん検診 希望する方は役場環境保健課に採便する容器がありますので取りにきて下さい。
(自己負担金500円です)
事前に渡された容器に2日間採便して、必ず問診票と一緒に
13日の午前9時30分までに旧唐沢小学校へ届けて下さい。

基本健診 がん検診を受診される方は朝食をとらないで下さい。

上記以外にも次のような検診がありますので都合の良いものを受診して下さい。

働きざかり花の実年検診

実施日	対象者	場所	自己負担	村負担
10月2日・5日 9日・12日 16日	35才・45才 55才・60才 65才	山梨赤十字病院	8,000	男 25,600 女 34,981

希望される方は別紙様式に希望日を記入して自己負担金8,000円と一緒に環境保健課へ申し込んで下さい。(必ず第1希望、第2希望を記入して下さい。)

検便の容器等、詳細については役場から本人に郵送します。

当日検診は8時30分から始まります。(各自で病院に行ってください)

第15回

青少年ふれあいゲートボール大会



当日の朝まで主催者を悩ませた天候も、実施すると決定されるや、俄かに好転に向い絶好の日和の中、今年も昨年と同数の二十九チーム（総勢二百名の児童生徒）が参加して、八月十二日（日）村民グラウンドに於て盛大に開催されました。

この大会は、子供達が道志村の良いい環境の中で、心身共に健やかに育まれることを願って、青対本部と村民会議が共催で、毎年行っているものです。

審判団は、老人クラブ（十八名）の皆さんにお願いし、和やかな中にも厳正なゲームが楽しく進みました。育成会の役員も含め、文字どおり

9月は健康増進普及月間

健康日本21

生活習慣を見直して、健康な生活を

「健康日本21」では、9つの分野にそれぞれの達成目標を設定しています。

- ① **栄養・食生活**
栄養、食生活は健康の基本。目標は、適正な食物の摂取、そのための個人の行動の改善、その行動を支援するための環境づくりです。
- ② **身体活動・運動**
身体活動や運動は、生活習慣病の発生を予防する効果があります。日常生活での身体活動に対する意識や運動習慣の増加が目標です。また、高齢者の方の、積極的な外出や地域活動への参加も併せて目標としています。
- ③ **休養・こころの健康づくり**
こころの健康は、生活の質を大きく左右します。目標は、ストレスの低減、睡眠の確保、自殺者の減少です。
- ④ **たばこ**
喫煙は、がんや循環器病など多くの病気や妊娠にも関連した危険因子です。目標は、たばこの健康影響についての十分な知識の普及、未成年者の喫煙防止、分煙、禁煙希望者に対する禁煙支援です。
- ⑤ **アルコール**
アルコールは、慢性的に摂取し続けると臓器の健康に大きな影響を与えます。目標は、多量飲酒者の減少、未成年の飲酒防止、節度ある適度な飲酒についての知識の普及です。
- ⑥ **歯の健康**
食事や会話を楽しむためにも、歯の健康は重要。目標は、歯の喪失原因となる蝕や歯周病の予防、歯の喪失防止などです。
- ⑦ **糖尿病**
日本の糖尿病患者数は、生活習慣と社会の変化に伴って急激に増加しています。また、糖尿病はひとたび発病すると完全な回復は難しく、放置すると重大な合併症を引き起こしかねません。目標は、糖尿病予防のための生活習慣の改善、糖尿病の早期発見と治療の継続です。
- ⑧ **循環器病**
循環器病は、日本の主な死亡原因の一つで、後遺症のために生活を阻害する要因ともなっています。目標は、循環器病の発病を防ぐための生活習慣の改善、その早期発見です。
- ⑨ **がん**
がんは、日本最大の死亡原因であり、総死亡の約三割を占めています。目標は、がん早期発見のための、がん検診の受診者増加、併せてがんを防ぐための生活習慣の改善です。

三世代が一堂に会し交流を深めた有意義な一日でした。

大会成績

優勝 川原畑Aチーム
準優勝 長幡西Aチーム
第三位 神地Dチーム

来賓の方々始め、多くの皆さんの御協力ありがとうございました。

乳がん・子宮がん検診を行います！

暑い夏もそろそろ終わり、食欲、スポーツ、読書の秋が始まります。

村では、この秋も、乳がん・子宮がん検診を行います。

近年、食生活の欧米化などにより、乳がん、子宮がんが増えています。しかし、早期に発見することで、100%治るともいわれます。

月 日	場 所	時 間
9月18日(火)	中央公民館(竹之本)	受付・午後1時30分~3時
10月2日(火)	山光荘(下白井平)	診察・午後2時~

対 象 30歳以上の女性

費 用 500円

検診当日 保健婦と一緒に自己検診法を覚えましょう。

注意事項

当日、受診できない方は、施設検診をお受け下さい。役場で施設検診用受診票を受けとり、各自で、指定の医療機関で受診して下さい。

尚、自己負担金は500円です。

問い合わせは役場環境保健課まで。

(TEL 52 - 2111)



皆さんはじめまして

水源林管理所長 小田切 光文

道志村の皆様はじめまして、四月一日付けで水源林管理所長に赴任しました。

山梨県出身の「小田切」と申します。どうぞよろしくお願いたします。

緑と清流を守るためにご尽力いただいております村当局及び村民の皆様にご心より感謝申し上げます。

さて、早いもので着任五ヶ月が過ぎました。ホタル祭り、マス釣大会などへのお招き、私的公的にお付き合いさせていただいている間に村や関係機関の様子などがだんだんわかってきました。水源かん養林の経営管理や役場との関わり、道志村のことなどを勉強し、皆様とお付き合いさせていただきたいと思っています。

大正五年に道志村との友好関係がスタートして以来、先輩たちが皆々と築いてきたこの良き伝統を職員と共に、更に進展させるための橋渡し役を努めさせていただき所存です。

『今秋の十月八日には道志村の協賛を得て大きなイベントを企画しています。二十一世紀の幕開けを記念し、道志村との交流を図るため一千人による一万本の広葉樹を植樹する「道志・森未来植樹祭」です。当日は「村体育祭」の翌日

でお疲れと思えますが参加とご協力をお願いします。皆様にご迷惑をおかけしますが、なんとしても天候に恵まれて成功させたいと思っています。』

私は山梨県敷島町で生まれ育ちました。昇仙峡の下流側の県魚苗センターから約1kmほど下ったところ。南に富士、西に南・中央アルプス、甲斐駒、八ヶ岳、北に金峰山を仰ぐ、緑と清流のなかで育ちました。二十年程前から神奈川県綾瀬市に妻と三人の子供と住んでいます。こちらでは、単身赴任で管理所構内の公舎に金帰月来で住んでいます。

昭和三十七年に入局、建設・配水・管財・浄水部などに勤務、特に平成元年から四年間は管財課に所属し、道志村には色々な工事も調査できていましたので水源地の様子について常に感心（同郷心）を持っていました。

趣味は園芸（最近はガーデニング）とスポーツです。スポーツは何でも好きですが、健康をかねて地域でソフトボールとゴルフを楽しんでいます。

今後とも、皆様の暖かいご支援をいただけますようお願いいたします。

道志・森未来植樹祭式典会場案内図

